

通 商 産 業 省

9資公部第79号

平成9年3月5日

社団法人日本ガス協会

会長 渡辺 宏 殿

資源エネルギー庁公益事業部長 岡本 肇



ガス工作物の技術上の基準を定める省令及びガス工作物の技術上の
基準の細目を定める告示等の運用について

ガス工作物の技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令（平成9年通商産業省令第8号）及びガス工作物の技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する告示（平成9年通商産業省告示第86号）が、平成9年2月28日付けをもって公布されたことに伴い、改正後のガス工作物の技術上の基準を定める省令（昭和45年通商産業省令第98号）及びガス工作物の技術上の基準を定める告示（昭和45通商産業省告示第635号）等の運用について、別記1から5までのとおりとすることとしたので、通知する。

ついては、貴協会においても会員各位に対し、遺漏なく措置するよう周知されたい。

別記 1

ガス工作物の技術上の基準を定める省令第72条の2の運用について

ただし書き第2号のガスの使用者の承諾を得ることができない場合の運用等については、下記の通りとする。

記

1. ガスの使用者の承諾が得られない場合とは、次に挙げる場合をいう。

- (1) 特定のガスメーターを設置するにあたり、障害物等の理由により、取り付けが著しく困難であって、取り付けのための空間を確保するための承諾が得られない場合
- (2) 既設のガスメーターが複数並列設置され、ガスメーターの出口で導管が一本になる場合であって、ガスメーターを統合することについての承諾が得られない場合
- (3) ガスの遮断がガスの使用状況によって重大な支障が生じる恐れがある場合であって、自動遮断することの承諾が得られない場合

別記 2

ガス工作物の技術上の基準の細目を定める告示第8条ただし書の「通商産業大臣の承認を受けることのできる溶接方法によるものと同等以上の機械的性質を有するもの」について

告示第8条ただし書の「通商産業大臣の承認を受けることのできる溶接方法によるものと同等以上の機械的性質を有するもの」については、次のとおり解する。

記

1. 通商産業大臣の承認を受けることのできる溶接方法とは、「溶接方法の承認について」（平成7年2月28日7資公部第73号）及び「溶接方法の承認について（平成7年2月28日7資公部第73号）の一部改正について」（平成8年7月15日8資公部第225号）において定められている規定を満足するものをいう。
2. 通商産業大臣の承認を受けることのできる溶接方法によるものと同等以上の機械的性質を有するものとは、例えば、中立性が担保された適切な検査機関等により、ASME Boiler and Pressure Vessel Code Section IX（以下「ASME § IX」という。）の規定を満足する適切な溶接方法であることが確認されたものとする。
 - (1) 具体的には、「中立性が担保された適切な検査機関等」とは、例えば次に掲げる機関をいう。
 - ①AIA(Authorized Inspection Agency)
 - ②Lloyd's Register of Shipping
 - ③TÜV(Technischer Überwachungs-Verein e.V.)
 - (2) 「ASME § IXの規定を満足する適切な溶接方法であること」とは、溶接施工法又は溶接士の技能についてASME § IXの規定にしたがって試験を行い、その結果を記録した下記書類に基づき、検査機関等の検査員が適切な溶接方法であることを確認されたものであることをいう。
 - ①溶接施工要領書(Welding Procedure Specification)
 - ②溶接施工法の試験記録(Procedure Qualification Record)
 - ③溶接士の技能の試験記録(Welder/Welding Operator Performance Qualifications)

別記3

ガス工作物の技術上の基準を定める省令中の「告示で定める規格に適合するものと同等以上の機械的性質を有する材料」の運用について

ガス工作物の技術上の基準を定める省令第18条、第33条、第37条、第43条、第55条、第61条及び第65条に規定される告示で定める規格に適合するものと同等以上の機械的性質を有する材料の運用については、下記のとおりとする。

なお、平成5年3月9日付5資公部第114号「ガス工作物の技術上の基準を定める省令及びガス工作物の技術上の基準の細目を定める告示の運用について」の別記3は廃止する。

記

省令第18条、第33条、第37条、第43条、第55条、第61条及び第65条に規定する告示で定める規格に適合するもの（以下「規格材料」という。）と同等以上の機械的性質を有する材料（以下「同等材料」という。）は、次の1、2又は3に掲げるものとする。

なお、同等材料の許容応力は、対応する規格材料の許容応力（告示の別表第1の4又は別表第1の5に掲げる値）とする。但し、API 5L、WES 3001、WES 3009及びASTM A 694については、許容応力としてそれぞれ表2、表3及び表4に掲げる値とする。

1. JIS規格に規定されている材料であって、次の(1)又は(2)のいずれかを満足するもの

(1) 規格材料の名称・年号等が変更になった場合の変更後の化学成分及び機械的性質が、規格材料のものと同等以上のもの

(2) 化学成分、機械的性質が規格材料と同等以上の材料であって、その製造方法又は形状が異なるもの（例えば鍛造品と鋼板の違いをいう。）

2. ASTM、ASME、BS、DIN、ISO等に規定されている材料であって、規格材料と化学成分、機械的性質が同等以上であるもの
同等以上であるものの例を表1「ASTM材の同等材料の例」に掲げる。

3. 次に掲げるもの

(1) 省令第18条、第33条、第37条、第43条、第55条及び第61条の規定に係る同等材料

①炭素鋼鋼管

A P I 5 L「ラインパイプ」

X 42、X 46、X 52、X 56、X 60及びX 65

(但し、冬々スパイラル管を除く。)

②高張力鋼鋼板

W E S 3001「溶接用高張力鋼板」

H W 355、H W 390、H W 450、H W 490、H W 550、H W 620、H W 685

W E S 3009「溶接割れ感受性の低い高張力鋼板の特性」

H W 450 C F 及び H W 490 C F

③高張力鋼鍛鋼品

化学成分、溶接割れ感受性組成、機械的性質及び衝撃特性が W E S 3001 に適合するもの ((b) 「高張力鋼鋼板」に掲げた材料の範囲内のものに限る。)

(2) 省令第65条の規定に係る同等材料

①炭素鋼鋼管

A P I 5 L「ラインパイプ」

X 42、X 46、X 52、X 56、X 60、X 65及び G r B

(但し、冬々スパイラル管を除く。)

②高張力鋼鍛鋼品

A S T M A 6 9 4「高圧輸送管フランジ管継手、弁用鍛鋼品炭素鋼、合金鋼」

F 42、F 46、F 52、F 56、F 60、F 65

(注) W E S : 日本溶接協会規格

A P I : 米国石油協会規格

A S T M : 米国材料試験協会規格

A S M E : 米国機械学会規格

B S : 英国規格協会規格

D I N : ドイツ規格委員会規格

I S O : 国際標準化機構規格

表 1 A S T M 材 の 同 等 材 料 の 例

同 等 材 料 (A S T M 材 料)	告 示 に 規 定 さ れ た 材 料 (J I S 材 料)	同 等 材 料 (A S T M 材 料)	告 示 に 規 定 さ れ た 材 料 (J I S 材 料)
A105	G3201 SF440A	A333 Gr1 " Gr3	G3460 STPL380 " STPL450
A106 GrB " GrC	G3456 STPT410 " STPT480	A350 LF1 " LF2 " LF3	G3126 SLA235A " SLA325A G3127 SL3N275
A148 Gr 80-40 " Gr 80-50 " Gr 90-60 " Gr105-85	G5111 SCC3A " SCC3A " SCC5A " SCMnCr4A	A352 LCB " LC1 " LC2 " LC3	G5152 SCPL1 " SCPL11 " SCPL21 " SCPL31
A182 F1 " F5 " F5a " F9 " F11 class2 " F12 class2 " F22 class3 " F304 " F316	G3213 SFVAF1 " SFVAF5B " SFVAF5B " SFVAF9 " SFVAF11A " SFVAF12 " SFVAF22B G3214 SUSF304 " SUSF316	A387 Gr2 " Gr12 " Gr11 " Gr22 " Gr21 " Gr5	G4109 SCHV1 " SCHV2 " SCHV3 " SCHV4 " SCHV5 " SCHV6
A203 GrB	G3127 SL2N255	A516 Gr70	G3118 SGV480
A204 GrA " GrB " GrC	G3103 SB450H " SB480H " SB480H	A522 Type I	G3127 SL9N590
A216 WCA " WCB " WCC	G5102 SCW410 " SCW480 G5102 SCW480	A537 CL1	G3126 SLA325A
A234 WPB	B2313 PG410W	A572 Gr42	G3106 SH400A " SH400B " SH400C
A269 TP304 " TP304L " TP316 " TP316L " TP321 " TP347	G3463 SUS4304TB " SUS304LTB " SUS316TB " SUS316LTB " SUS321TB " SUS347TB	A662 GrA " GrC	G3126 SLA235A.B G3126 SLA325A.B

表2 API 5Lの許容応力表

組 類	記号	標準成分 %	最小引張強さ H/mm^2	最小降伏点 H/mm^2	製造方法	各 温 度 に お け る 許 容 引 張 応 力 (H/mm^2)																														
						温度	-196	-100	-60	-45	-30	-10	40	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	425	450	475	500	525	550	575	600	625
A.P.I 5 L 「ライン パイプ」	X42	—	413	289	—	—	—	—	—	—	103 130	103 130	103 120	103 117	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	X46	—	434	317	—	—	—	—	—	—	108 138	108 138	108 134	108 131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	X52	—	455	358	—	—	—	—	—	—	114 146	114 146	114 142	114 139	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	X56	—	489	386	—	—	—	—	—	—	122 156	122 156	122 152	122 148	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	X60	—	517	413	—	—	—	—	—	—	129 165	129 165	129 161	129 155	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	X65	—	530	448	—	—	—	—	—	—	132 169	132 169	132 165	132 160	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	GrD	—	413	241	S	—	—	—	—	—	—	103	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				E	—	—	—	—	—	—	88	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(備考) 1 上段の値は最小引張強さを基拠とした許容応力を示し、下段の値は0.2%ひずみ時の引張強さを基拠とした許容応力を示す。

- (備考) 1 上段の値は最小引張強さを基準とした許容応力を示し、下段の値は0.5%耐力を基準とした許容応力を示す。
 2 この表において、各温度の中間における許容引張応力の値は、比例法によって計算する。
 3 この表の製造方法の欄において、Sは縫目無管、Eは電気抵抗溶接管を示す。

表3 WES 3001、WESの3009の許容応力表

品 類	記 号	炭素 成分 %	最小 引張 強さ N/mm ²	最小 降伏 強さ N/mm ²	注	製 造 方 法	各 組 度 に お け る 許 容 引 張 応 力 (N / m m ²)																														
							組 度	-100	-60	-45	-30	-10	40	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	425	450	475	500	525	550	575	600	625	650
							-196	-	-	-	-	130	139	151	147	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143
VES 3001 溶接川崎 N力鋼板	W355	-	520	355	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	130	139	151	147	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143			
	W390	-	560	390	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140			
	W450	-	590	450	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148			
	W490	-	610	490	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152			
	W550	-	670	550	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168		
VES 3009 溶接神戶 低力鋼板	W620	-	710	620	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178	178			
	W685	-	780	685	(1)(2)(4) (1)(2)(3)(4)	-	-	-	-	-	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195	195			
	W7450	-	590	450	(1)(2)(4)	-	-	-	-	-	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148			
	CF	-	610	490	(1)(2)(4)	-	-	-	-	-	187	187	182	178	174	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169			
	CF	-	610	490	(1)(2)(4)	-	-	-	-	-	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152	152			

(備考) 1 この表において、各組度の中間における許容引張応力の値は、比例法によって計算する。
 2 この表の注の欄に用いる数字は、それぞれ次の意味を表すものとする。ただし、-10℃を当該規格に定める最低使用温度に読み替える。
 (1) WES 3003「溶接用鋼板」に合格した場合においては、-10℃を当該規格に定める最低使用温度(即ち許容値を含む。)が日本規格協会規格WES 3001に適合する高
 (2) WES 3009「溶接用鋼板」に合格した場合は、溶接用鋼板の引張強さ(即ち許容値を含む。)が日本規格協会規格WES 3001に適合する高
 (3) この数値は、降伏点又は0.2%耐力をもとにして求めた許容引張応力である。この数値を用いて作られた容器の当座検査は、その全線について技術上の基準
 (4) 炭素成分は0.25%以下とする。

表4 ASTM A694の許容応力表

鋼 類	記号	原形成分 %	最小引張強さ N/mm ²	最小降伏点 N/mm ²	製造方法	各温度における許容引張応力 (N/mm ²)																													
						温度 -196	-100	-60	-45	-30	-10	40	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	425	450	475	500	525	550	575	600	625
ASTM A694 「高圧輸送 管フラン ジ継手、弁 川炭素鋼 炭素鋼、合 金鋼」	F42	—	415	290	—	—	—	—	—	—	130	130	121	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	F46	—	415	315	—	—	—	—	—	—	132	132	128	125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	F52	—	455	360	—	—	—	—	—	—	146	146	142	139	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	F56	—	470	385	—	—	—	—	—	—	150	150	146	143	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	F60	—	515	415	—	—	—	—	—	—	165	165	161	155	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	F65	—	530	450	—	—	—	—	—	—	169	169	165	160	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(備考) 1 この表における許容応力は、ASTM A694の規格に準拠したものである。

(備考) 1 この表における許容応力は、0.2%耐力を基準としたものである

2 この表において、各温度の中間における許容引張応力の値は、比例法によって計算する。

別記 4

S I 単位系への移行に伴うガス工作物の技術上の基準の細目を定める告示の運用について

1. 告示第 21 条及び告示第 84 条の改正前の材料を使用する場合は、表 1 右欄の「平成 9 年 2 月 28 日改正前の告示に規定された材料の J I S 規格」は、対応する同表左欄の「平成 9 年 2 月 28 日改正後の告示に規定された材料の J I S 規格」に読み替えてよい。
2. 材料の許容引張応力値を規定した別表第 1 の 4 及び別表第 1 の 5（以下別表という。）の改正前の非 S I 単位系については、平成 11 年 9 月 30 日までの間、表 1 に示す材料 J I S 規格の対応の範囲において改正前の別表により用いることができる。なお、この場合において「水輸送用塗装鋼管 J I S G 3443 (1987)」の許容引張応力値は、表 2 に示す値を使用するものとする。
3. 告示第 92 条の改正前の材料を使用する場合は、表 3 右欄の「平成 9 年 2 月 28 日改正前の告示に規定された材料の J I S 規格」は、対応する同表左欄の「平成 9 年 2 月 28 日改正後の告示に規定された材料の J I S 規格」に読み替えてよい。
4. 平成 2 年 12 月 27 日付け 2 公ガ保第 27 号「材料規格の S I 単位化に伴うガス工作物の技術上の基準の細目を定める告示の運用について」は廃止する。

表 1. J I S 規格対応表

平成 9 年 2 月 28 日改正後の告示に規定された材料の J I S 規格		平成 9 年 2 月 28 日改正前の告示に規定されていた材料の J I S 規格	
種 類	記 号	種 類	記 号
一般構造用圧延鋼材 J I S G 3101 (1995)	SS330	一般構造用圧延鋼材 J I S G 3101 (1976)	SS34
	SS400		SS41
ボイラ及び圧力容器用炭素鋼及び ミリブデン鋼鋼板 J I S G 3103 (1987)	SB410	ボイラ及び圧力容器用炭素鋼及び ミリブデン鋼鋼板 J I S G 3103 (1977)	SB42
	SB450		SB46
	SB480		SB49
	SB450M		SB46M
	SB480M		SB49M
溶接構造用圧延鋼材 J I S G 3106 (1992)	SM400A	溶接構造用圧延鋼材 J I S G 3106 (1977)	SM41A
	SM400B		SM41B
	SM400C		SM41C
	SM490A		SM50A
	SM490B		SM50B
	SM490C		SM50C

	SM520B		SM53B
	SM520C		SM53C
	SM570		SM58
溶接構造用耐熱性炭素鋼板 JIS G 3114(1988)	SMA400AW SMA400AP	溶接構造用耐熱性炭素鋼板 JIS G 3114(1977)	SMA41A
	SMA400BW SMA400BP		SMA41B
	SMA400CW SMA400CP		SMA41C
	SMA490AW SMA490AP		SMA50A
	SMA490BW SMA490BP		SMA50B
	SMA490CW SMA490CP		SMA50C
	SMA570W SMA570P		SMA58
圧力容器用鋼板 JIS G 3115(1990)	SPV235	圧力容器用鋼板 JIS G 3115(1977)	SPV24
	SPV315		SPV32
	SPV355		SPV36
	SPV450		SPV46
	SPV490		SPV50
高圧ガス容器用鋼板及び鋼帯 JIS G 3116(1990)	SG255	高圧ガス容器用鋼板及び鋼帯 JIS G 3116(1977)	SG26
	SG295		SG30
	SG325		SG33
	SG365		SG37
中・常温圧力容器用炭素鋼鋼板 JIS G 3118(1987)	SGV410	中・常温圧力容器用炭素鋼鋼板 JIS G 3118(1977)	SGV42
	SGV450		SGV46
	SGV480		SGV49
ボイラ及び圧力容器用マンガン モリブデン鋼及びマンガンモリ ブデンニッケル鋼鋼板 JIS G 3119(1987)	SBV1A	ボイラ及び圧力容器用マンガン モリブデン鋼及びマンガンモリ ブデンニッケル鋼鋼板 JIS G 3119(1977)	SBV1A
	SBV1B		SBV1B
	SBV2		SBV2
	SBV3		SBV3
	SOV1A		SOV1A

圧力容器用鋼質型マンガンモリブデン鋼及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板 JIS G 3120 (1987)	SOV1B	圧力容器用鋼質型マンガンモリブデン鋼及びマンガンモリブデンニッケル鋼鋼板 JIS G 3120 (1977)	SOV1B
	SOV2A		SOV2A
	SOV2B		SOV2B
	SOV3A		SOV3A
	SOV3B		SOV3B
低温圧力容器用炭素鋼鋼板 JIS G 3126 (1990)	SLA235A	低温圧力容器用炭素鋼鋼板 JIS G 3126 (1975)	SLA24A
	SLA235B		SLA24B
	SLA325A		SLA33A
	SLA325B		SLA33B
	SLA360		SLA37
低温圧力容器用ニッケル鋼鋼板 JIS G 3127 (1990)	SL2N255	低温圧力容器用ニッケル鋼鋼板 JIS G 3127 (1977)	SL2N26
	SL3N255		SL3N26
	SL3N275		SL3N28
	SL3N440		SL3N45
	SL9N520		SL9N53
	SL9N590		SL9N60
熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 JIS G 3131 (1990)	SPHC	熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 JIS G 3131 (1977)	SPHC
	SPHD		SPHD
	SPHE		SPHE
炭素鋼鍛鋼品 JIS G 3201 (1988)	SF340A	炭素鋼鍛鋼品 JIS G 3201 (1978)	SF35A
	SF390A		SF40A
	SF440A		SF45A
	SF490A		SF50A
圧力容器用炭素鋼鍛鋼品 JIS G 3202 (1988)	SFVC2B	圧力容器用鋼質型炭素鋼及び低合金鋼鍛鋼品 JIS G 3211 (1977)	SFV1
		圧力容器用鋼質型真空処理炭素鋼及び低合金鋼鍛鋼品 JIS G 3212 (1977)	SFVV1
高温圧力容器用合金鋼鍛鋼品 JIS G 3203 (1988)	SFVAF1	高温圧力容器部品用合金鋼鍛鋼 JIS G 3213 (1977)	SFHV12B
	SFVAF2		SFHV13B
	SFVAF12		SFHV22B

	SFVAF11A		SFHV23B
	SFVAF22B		SFHV24B
	SFVAF5B		SFHV25
	SFVAF9		SFHV26B
圧力容器用鋼質型合金鋼鍛鋼品 JIS G 3204(1988)	SFV01A	圧力容器用鋼質型炭素鋼及び低合金鋼鍛鋼品 JIS G 3211(1977)	SFV3
		圧力容器用鋼質型真空処理炭素鋼及び低合金鋼鍛鋼品 JIS G 3212(1977)	SFVV3
	SFV02A	圧力容器用鋼質型炭素鋼及び低合金鋼鍛鋼品 JIS G 3211(1977)	SFV2
		圧力容器用鋼質型真空処理炭素鋼及び低合金鋼鍛鋼品 JIS G 3212(1977)	SFVV2
圧力容器用ステンレス鋼鍛鋼品 JIS G 3214(1991)	SUSF304	高温圧力容器部品用ステンレス鋼鍛鋼品 JIS G 3214(1977)	SUSF304
	SUSF304H		SUSF304H
	SUSF304L		SUSF304L
	SUSF310		SUSF310
	SUSF316		SUSF316
	SUSF316H		SUSF316H
	SUSF316L		SUSF316L
	SUSF321		SUSF321
	SUSF321H		SUSF321H
	SUSF347		SUSF347
	SUSF347H		SUSF347H
水輸送用炭素鋼管 JIS G 3443(1987)	STW290	※表2を参照	
	STW370		
	STW400		
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452(1988)	SGP	配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452(1978)	SGP
圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454(1988)	STPG370	圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454(1978)	STPG38
	STPG410		STPG42

高圧配管用炭素鋼管 JIS G 3455(1988)	STS370	高圧配管用炭素鋼管 JIS G 3455(1978)	STS38
	STS410		STS42
	STS480		STS49
高温配管用炭素鋼管 JIS G 3456(1988)	STPT370	高温配管用炭素鋼管 JIS G 3456(1978)	STPT38
	STPT410		STPT42
	STPT480		STPT49
配管用アーク溶接炭素鋼管 JIS G 3457(1988)	STPY400	配管用アーク溶接炭素鋼管 JIS G 3457(1978)	STPY41
配管用合金鋼管 JIS G 3458(1988)	STPA12	配管用合金鋼管 JIS G 3458(1978)	STPA12
	STPA20		STPA20
	STPA22		STPA22
	STPA23		STPA23
	STPA24		STPA24
	STPA25		STPA25
	STPA26		STPA26
配管用ステンレス鋼管 JIS G 3459(1994)	SUS304TP	配管用ステンレス鋼管 JIS G 3459(1978)	SUS304TP
	SUS304HTP		SUS304HTP
	SUS304LTP		SUS304LTP
	SUS309TP		SUS309STP
	SUS310TP		SUS310STP
	SUS316TP		SUS316TP
	SUS316HTP		SUS316HTP
	SUS316LTP		SUS316LTP
	SUS321TP		SUS321TP
	SUS321HTP		SUS321HTP
	SUS347TP		SUS347TP
	SUS347HTP		SUS347HTP
	SUS329J1TP		SUS329JLTP
低温配管用鋼管 JIS G 3460(1988)	STPL380	低温配管用鋼管 JIS G 3460(1978)	STPL39
	STPL450		STPL46
	STPL690		STPL70

ボイラ・熱交換器用炭素鋼鋼管 JIS G 3461(1988)	STB340	ボイラ・熱交換器用炭素鋼鋼管 JIS G 3461(1978)	STB35
	STB410		STB42
	STB510		STB52
ボイラ・熱交換器用合金鋼鋼管 JIS G 3462(1988)	STBA12	ボイラ・熱交換器用合金鋼鋼管 JIS G 3462(1978)	STBA12
	STBA13		STBA13
	STBA20		STBA20
	STBA22		STBA22
	STBA23		STBA23
	STBA24		STBA24
	STBA25		STBA25
ボイラ・熱交換器用ステンレス 鋼管 JIS G 3463(1994)	STBA26		STBA26
	SUS304TB	ボイラ・熱交換器用ステンレス 鋼管 JIS G 3463(1978)	SUS304TB
	SUS304HTB		SUS304HTB
	SUS304LTB		SUS304LTB
	SUS309STB		SUS309STB
	SUS310STB		SUS310STB
	SUS316TB		SUS316TB
	SUS316HTB		SUS316HTB
	SUS316LTB		SUS316LTB
	SUS321TB		SUS321TB
	SUS321HTB		SUS321HTB
	SUS347TB		SUS347TB
	SUS347HTB		SUS347HTB
	SUS410TB		SUS410TB
	SUS430TB		SUS430TB
	SUS329J1TB		SUS329J1TB
低温熱交換器用鋼管 JIS G 3464(1988)	STBL380	低温熱交換器用鋼管 JIS G 3464(1978)	STBL39
	STBL450		STBL46
	STBL690		STBL70
	SUS304TPY		SUS304TPY

配管用溶接大径ステンレス鋼管 JIS G 3468 (1994)	SUS304LTPY	配管アーク溶接大径ステンレス 鋼管 JIS G 3468 (1978)	SUS304LTPY
	SUS309STPY		SUS309STPY
	SUS310STPY		SUS310STPY
	SUS316TPY		SUS316TPY
	SUS316LTPY		SUS316LTPY
	SUS321TPY		SUS321TPY
	SUS347TPY		SUS347TPY
機械構造用炭素鋼鋼材 JIS G 4051 (1979)	S10C	機械構造用炭素鋼鋼材 JIS G 4051 (1979)	S10C
	S12C, S15C		S12C, S15C
	S17C, S20C		S17C, S20C
	S22C, S25C		S22C, S25C
	S28C, S30C		S28C, S30C
ニッケルクロム鋼鋼材 JIS G 4102 (1979)	SNC236	ニッケルクロム鋼鋼材 JIS G 4102 (1979)	SNC236
	SNC631		SNC631
	SNC836		SNC836
ニッケルクロムモリブデン鋼鋼材 JIS G 4103 (1979)	SNCM431	ニッケルクロムモリブデン鋼鋼材 JIS G 4103 (1979)	SNCM431
	SNCM625		SNCM625
	SNCM630		SNCM630
	SNCM240		SNCM240
	SNCM439		SNCM439
	SNCM447		SNCM447
クロム鋼鋼材 JIS G 4104 (1979)	SCr430	クロム鋼鋼材 JIS G 4104 (1979)	SCr430
	SCr435		SCr435
	SCr440		SCr440
	SCr445		SCr445
クロムモリブデン鋼鋼材 JIS G 4105 (1979)	SCM432	クロムモリブデン鋼鋼材 JIS G 4105 (1979)	SCM432
	SCM430		SCM430
	SCM435		SCM435
	SCM440		SCM440
	SCM445		SCM445

	SUS430		SUS430
	SUS434		SUS434
耐熱鋼板 JIS G 4312(1991)	SUH309	耐熱鋼板 JIS G 4312(1981)	SUH309
	SUH310		SUH310
	SUH330		SUH330
	SUH21		SUH21
	SUH409		SUH409
	SUH446		SUH446
耐食耐熱超合金棒 JIS G 4901(1991)	NCF800	耐食耐熱超合金棒 JIS G 4901(1981)	NCF800
耐食耐熱超合金板 JIS G 4902(1991)	NCF800	耐食耐熱超合金板 JIS G 4902(1981)	NCF800
配管用縫目無ニッケルクロム鉄合金管 JIS G 4903(1991)	NCF800TP	配管用縫目無ニッケルクロム鉄合金管 JIS G 4903(1981)	NCF800TP
	NCF800HTP		NCF800HTP
熱交換器用縫目無ニッケルクロム鉄合金管 JIS G 4904(1991)	NCF800TB	熱交換器用縫目無ニッケルクロム鉄合金管 JIS G 4904(1981)	NCF800TB
	NCF800HTB		NCF800HTB
炭素鋼鋳鋼品 JIS G 5101(1991)	SC360	炭素鋼鋳鋼品 JIS G 5101(1978)	SC37
	SC410		SC42
	SC450		SC46
	SC480		SC49
溶接構造用鋳鋼品 JIS G 5102(1991)	SCW410	溶接構造用鋳鋼品 JIS G 5102(1978)	SCW42
	SCW480		SCW49
	SCW550		SCW56
	SCW620		SCW63
構造用高強度炭素鋼及び低合金鋼鋳鋼品 JIS G 5111(1991)	SCC3A	構造用高強度炭素鋼及び低合金鋼鋳鋼品 JIS G 5111(1978)	SCC3A
	SCC5A		SCC5A
	SCMn1A		SCMn1A
	SCMn2A		SCMn2A
	SCMn3A		SCMn3A
	SCMn5A		SCMn5A
	SCSiMn2A		SCSiMn2A

機械構造用マンガン鋼鋼材及び マンガンクロム鋼鋼材 JIS G 4106(1979)	SMn433	機械構造用マンガン鋼鋼材及び マンガンクロム鋼鋼材 JIS G 4106(1979)	SMn433
	SMn438		SMn438
	SMn443		SMn443
	SMn420		SMn420
	SMnC443		SMnC443
	SMnC420		SMnC420
ボイラ及び圧力容器用クロムモ リブデン鋼鋼板 JIS G 4109(1987)	SCMV1	ボイラ及び圧力容器用クロムモ リブデン鋼鋼板 JIS G 4109(1977)	SCMV1
	SCMV2		SCMV2
	SCMV3		SCMV3
	SCMV4		SCMV4
	SCMV5		SCMV5
	SCMV6		SCMV6
アルミニウムクロムモリブデン 鋼鋼材 JIS G 4202(1979)	SACM645	アルミニウムクロムモリブデン 鋼鋼材 JIS G 4202(1979)	SACM645
ステンレス鋼棒 JIS G 4303(1991) 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼 帯 JIS G 4304(1991) 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼 帯 JIS G 4305(1991)	SUS302	ステンレス鋼棒 JIS G 4303(1981) 熱間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4304(1981) 冷間圧延ステンレス鋼板 JIS G 4305(1981) 熱間圧延ステンレス鋼帯 JIS G 4306(1981) 冷間圧延ステンレス鋼帯 JIS G 4307(1981)	SUS302
	SUS304		SUS304
	SUS304L		SUS304L
	SUS309S		SUS309S
	SUS310S		SUS310S
	SUS316		SUS316
	SUS316L		SUS316L
	SUS316J1		SUS316J1
	SUS316J1L		SUS316J1L
	SUS317		SUS317
	SUS317L		SUS317L
	SUS321		SUS321
	SUS347		SUS347
	SUS329J1		SUS329J1
	SUS405		SUS405
	SUS410		SUS410

	SCMnCr2A		SCMnCr2A
	SCMnCr3A		SCMnCr3A
	SCMnCr4A		SCMnCr4A
ステンレス鋼鋳鋼品 JIS G 5121 (1991)	SCS1-T1	ステンレス鋼鋳鋼品 JIS G 5121 (1980)	SCS1-T1
	SCS1-T2		SCS1-T2
	SCS13		SCS13
	SCS13A		SCS13A
	SCS14		SCS14
	SCS14A		SCS14A
	SCS16		SCS16
	SCS16A		SCS16A
	SCS17		SCS17
	SCS18		SCS18
	SCS19		SCS19
	SCS19A		SCS19A
	SCS21		SCS21
耐熱鋼鋳鋼品 JIS G 5122 (1991)	SCH12	耐熱鋼鋳鋼品 JIS G 5122 (1980)	SCH12
	SCH13		SCH13
	SCH16		SCH16
	SCH17		SCH17
	SCH18		SCH18
	SCH21		SCH21
	SCH22		SCH22
	SCH23		SCH23
	SCH24		SCH24
高マンガン鋼鋳鋼品 JIS G 5131 (1991)	SCMnH1	高マンガン鋼鋳鋼品 JIS G 5131 (1978)	SCMnH1
	SCMnH2		SCMnH2
高温高圧用鋼鋳鋼品 JIS G 5151 (1991)	SCPH1	高温高圧用鋼鋳鋼品 JIS G 5151 (1978)	SCPH1
	SCPH2		SCPH2
	SCPH11		SCPH11

	SCPH21		SCPH21
	SCPH32		SCPH32
	SCPH61		SCPH61
低温高圧用鋳鋼品 JIS G 5152(1991)	SCPL1	低温高圧用鋳鋼品 JIS G 5152(1978)	SCPL1
	SCPL11		SCPL11
	SCPL21		SCPL21
	SCPL31		SCPL31
ねずみ鋳鉄品 JIS G 5501(1989)	FC100	ねずみ鋳鉄品 JIS G 5501(1976)	FC10
	FC150		FC15
	FC200		FC20
	FC250		FC25
	FC300		FC30
	FC350		FC35
球状黒鉛鋳鉄品 JIS G 5502(1989)	FCD400	球状黒鉛鋳鉄品 JIS G 5502(1975)	FCD40
	FCD450		FCD45
ダクタイル鋳鉄管 JIS G 5526(1989)	D1	水道用延心力球状黒鉛鋳鉄管 JIS G 5526(1977)	D水1
	D2		D水2
	D3		D水3
ダクタイル鋳鉄異形管 JIS G 5527(1989)	DF	水道用球状黒鉛鋳鉄異形管 JIS G 5527(1977)	D水
黒心可鍛鋳鉄品 JIS G 5702(1988)	FCMB270	黒心可鍛鋳鉄品 JIS G 5702(1978)	FCMB28
	FCMB310		FCMB32
	FCMB340		FCMB35
	FCMB360		FCMB37
白心可鍛鋳鉄品 JIS G 5703(1988)	FCMW330	白心可鍛鋳鉄品 JIS G 5703(1978)	FCMW34
	FCMW370		FCMW38
	FCMW440		FCMWP45
	FCMW490		FCMWP50
	FCMW540		FCMWP55
	FCMP440		FCMP45

パーライト可鍛鉄品 JIS G 5704(1988)	FCMP490	パーライト可鍛鉄品 JIS G 5704(1978)	FCMP50
	FCMP540		FCMP55
	FCMP590		FCMP60
	FCMP690		FCMP70
ダクタイル鉄鋳造品 JIS B 8270(1993)附層≦5	FCD-S	ダクタイル鉄鋳造品 JIS B 8243(1981)附層≦1	FCD-S
マレアップル鉄鋳造品 JIS B 8270(1993)附層≦5	FCMB-S35	マレアップル鉄鋳造品 JIS B 8243(1981)附層≦1	FCMB-S35
	FCMB-S37		FCMB-S37

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格			平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格		
種 類	記 号	質 別	種 類	記 号	質 別
銅及び銅合金の板及び条 JIS H 3100(1992)	C1020P C1020R C1100P C1100R C1201P C1201R C1220P C1220R	O	銅及び銅合金の板及び条 JIS H 3100(1981)	C1020P C1020R C1100P C1100R C1201P C1201R C1220P C1220R	O
	C4621P	F		C4621P	F
	C4640P	F		C4640P	F
	C6161P	O		C6161P	O
	C6280P	F		C6280P	F
	C6301P	F		C6301P	F
	C7060P	F		C7060P	F
	C7150P	F		C7150P	F
銅及び銅合金棒 JIS H 3250(1992)	C1020BE C1100BE C1201BE C1220BE	F	銅及び銅合金棒 JIS H 3250(1981)	C1020BE C1100BE C1201BE C1220BE	F
	C1020BD C1100BD C1201BD C1220BD	O		C1020BD C1100BD C1201BD C1220BD	O
	C2600BE	F		C2600BE	F
	C2600BD	O		C2600BD	O
	C2700BE	F		C2700BE	F

C2700BD	O
C2800BE	F
C2800BD	O
C3601BD	O
C3602BE C3602BD	F
C3603BD	O
C3604BE C3604BD	F
C3712BE C3712BD C3771BE C3771BD	F

C2700BD	O
C2800BE	F
C2800BD	O
C3601BD	O
C3602BE C3602BD	F
C3603BD	O
C3604BE C3604BD	F
C3712BE C3712BD C3771BE C3771BD	F

鋼及び鋼合金種目無管
JIS H 3300 (1992)

C1020T C1020TS C1100T C1100TS C1201T C1201TS C1220T C1220TS	O
C1020T C1020TS C1201T C1201TS C1220T C1220TS	OL
C1020T C1020TS C1100T C1100TS C1201T C1201TS C1220T C1220TS	1/2 H
C1020T C1020TS	H
C1100T C1100TS	H
C1201T C1201TS C1220T C1220TS	H
C2300T C2300TS	O

鋼及び鋼合金種目無管
JIS H 3300 (1981)

C1020T C1020TS C1100T C1100TS C1201T C1201TS C1220T C1220TS	O
C1020T C1020TS C1201T C1201TS C1220T C1220TS	OL
C1020T C1020TS C1100T C1100TS C1201T C1201TS C1220T C1220TS	1/2 H
C1020T C1020TS	H
C1100T C1100TS	H
C1201T C1201TS C1220T C1220TS	H
C2300T C2300TS	O

	C2300T C2300TS	OL		C2300T C2300TS	OL
	C2800T C2800TS	O		C2800T C2800TS	O
	C4430T C4430TS	O		C4430T C4430TS	O
	C6870T C6870TS C6871T C6871TS C6872T C6872TS	O		C6870T C6870TS C6871T C6871TS C6872T C6872TS	O
	C7060T C7060TS	O		C7060T C7060TS	O
	C7100T C7100TS	O		C7100T C7100TS	O
	C7150T C7150TS	O		C7150T C7150TS	O
銅及び銅合金溶接管 JIS H 3320 (1992)	C2600TW	O OL	銅及び銅合金溶接管 JIS H 3320 (1981)	C2600TW	O OL
		1/2 H			1/2 H
		H			H
	C2680TW	O OL		C2680TW	O OL
		1/2 H			1/2 H
		H			H
アルミニウム及びアル ミニウム合金の板及び 条 JIS H 4000 (1988)	A1080P A1070P	O	アルミニウム及びアル ミニウム合金の板及び 条 JIS H 4000 (1982)	A1080P A1070P	O
		H12 H22			H12 H22
		H14 H24			H14 H24
		H112			H112
	A1050P	O		A1050P	O
		H12 H22			H12 H22
		H14 H24			H14 H24
		H112			H112
		O			O

アルミニウム及びアル
ミニウム合金の板及び
条
JIS H 4000 (1988)

A1100P A1200P	H12 H22
	H14 H24
	H112
A3003P A3203P	O
	H12 H22
	H14 H24
	H112
A5052P A5652P	O
	H12 H22 H32
	H14 H24 H34
	H112
A5154P A5254P	O
	H12 H22 H32
	H14 H24 H34
	H112
A5454P	O
A5083P	O
	H32
	H112
A5083PS	O
A5086P	O
	H32
	H34
	H112

アルミニウム及びアル
ミニウム合金の板及び
条
JIS H 4000 (1982)

A1100P A1200P	H12 H22
	H14 H24
	H112
A3003P A3203P	O
	H12 H22
	H14 H24
	H112
A5052P A5652P	O
	H12 H22 H32
	H14 H24 H34
	H112
A5154P A5254P	O
	H12 H22 H32
	H14 H24 H34
	H112
A5454P	O
A5083P	O
	H32
	H112
A5083PS	O
A5086P	O
	H32
	H34
	H112

A6061P	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)
A7N01P	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)

A6061P	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)
A7N01P	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)

アルミニウム及びアル
ミニウム合金の標及び
線
JIS H 4040 (1988)

A1070BE	H 112
A1050BE	H 112
A1100BE A1200BE	H 112
A2024BE	T 4
A2024BD	T 4
A3003BE	H 112
A5052BE	H 112 O
A5056BE	H 112
A5083BE	H 112 O
A6061BE	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)
A6061BD	T 6
	(T6W)
A6063BE	T 1
	T 5
	T 6
	(T5W) (T6W)
A7N01BE	T 4
	T 6

アルミニウム及びアル
ミニウム合金の標及び
線
JIS H 4040 (1982)

A1070BE	H 112
A1050BE	H 112
A1100BE A1200BE	H 112
A2024BE	T 4
A2024BD	T 4
A3003BE	H 112
A5052BE	H 112 O
A5056BE	H 112
A5083BE	H 112 O
A6061BE	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)
A6061BD	T 6
	(T6W)
A6063BE	T 1
	T 5
	T 6
	(T5W) (T6W)
A7N01BE	T 4
	T 6

アルミニウム及びアル
ミニウム合金総目録
JIS H 4080 (1988)

	(T4W) (T6W)
A7003BE	T 5
	(T5W)
A1070TE	H 112
A1070TD	O
	H 14
A1050TE	H 112
A1050TD	O
	H 14
A1100TE A1200TE	H 112
A3003TE A3203TE	H 112
	O
A3003TD A3203TD	H 14
	H 18
A5052TE	H 112
	O
A5052TD	O
	H 34
A5154TE	H 112
	O
A5154TD	O
A5454TE	H 112
	O
A5056TE	H 112
A5083TE	H 112
	O
A5083TD	O
A6061TE	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)

アルミニウム及びアル
ミニウム合金総目録
JIS H 4080 (1982)

	(T4W) (T6W)
A7003BE	T 5
	(T5W)
A1070TE	H 112
A1070TD	O
	H 14
A1050TE	H 112
A1050TD	O
	H 14
A1100TE A1200TE	H 112
A3003TE A3203TE	H 112
	O
A3003TD A3203TD	H 14
	H 18
A5052TE	H 112
	O
A5052TD	O
	H 34
A5154TE	H 112
	O
A5154TD	O
A5454TE	H 112
	O
A5056TE	H 112
A5083TE	H 112
	O
A5083TD	O
A6061TE	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)

アルミニウム及びアルミニウム合金溶接管 JIS H 4090 (1990)	A6061TD	T 4	アルミニウム及びアルミニウム合金溶接管 JIS H 4090 (1980)	A6061TD	T 4
		T 6			T 6
		(T4W) (T6W)			(T4W) (T6W)
	A6063TE	T 1		A6063TE	T 1
		T 5			T 5
		T 6			T 6
		(T5W) (T6W)			(T5W) (T6W)
	A6063TD	T 6		A6063TD	T 6
		(T6W)			(T6W)
	A7N01TE	T 4		A7N01TE	T 4
		T 6			T 6
		(T4W) (T6W)			(T4W) (T6W)
	A7003TE	T 5		A7003TE	T 5
		(T5W)			(T5W)
アルミニウム及びアルミニウム合金溶接管 JIS H 4090 (1990)	A1050TW	O	アルミニウム及びアルミニウム合金溶接管 JIS H 4090 (1980)	A1050TW	O
	A1050TW	H 14		A1050TW	H 14
	A1100TW	O		A1100TW	O
	A1100TW A1200TW	H 14		A1100TW A1200TW	H 14
	A3003TW	O		A3003TW	O
	A3003TWS	H 14		A3003TWS	H 14
	A3203TW	H 18		A3203TW	H 18
	A5052TW	O		A5052TW	O
	A5052TWS	H 14 H 34		A5052TWS	H 14 H 34
アルミニウム及びアル	A1100S A1200S	H 112	アルミニウム及びアル	A1100S A1200S	H 112
	A2024S	T 4		A2024S	T 4
	A3003S A3203S	H 112		A3003S A3203S	H 112

ミニウム合金押出形材
JIS H 4100 (1988)

A5052S	H112 O
A5454S	H112 O
A5083S	H112 O
A6061S	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)
A6063S	T 1
	T 5
	T 6
	(T5W) (T6W)
A7N01S	T 4
	T 5
	T 6
	(T4W) (T5W) (T6W)
A7003S	T 5
	(T5W)

アルミニウム及びアル
ミニウム合金鍛造品
JIS H 4140 (1988)

A2014FD	T 4
	T 6
A5056FD	H112
A5083FD	O H112
A5083FH	O H112
A6061FD	T 6
	(T6W)
A6061FH	T 6
	(T6W)

ミニウム合金押出形材
JIS H 4100 (1982)

A5052S	H112 O
A5454S	H112 O
A5083S	H112 O
A6061S	T 4
	T 6
	(T4W) (T6W)
A6063S	T 1
	T 5
	T 6
	(T5W) (T6W)
A7N01S	T 4
	T 5
	T 6
	(T4W) (T5W) (T6W)
A7003S	T 5
	(T5W)

アルミニウム及びアル
ミニウム合金鍛造品
JIS H 4140 (1982)

A2014FD	T 4
	T 6
A5056FD	H112
A5083FD	O H112
A5083FH	O H112
A6061FD	T 6
	(T6W)
A6061FH	T 6
	(T6W)

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格			平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格		
種 類	種 別	記 号	種 類	種 別	記 号
鉛及び鉛合金板 JIS H 4301(1993)	—	PbP-1	鉛板 JIS H 4301(1955)	—	PbP
	—	HPbP4		—	HPbP4
	—	HPbP6		—	HPbP6
一般工業用鉛及び鉛合金管 JIS H 4311(1993)	—	PbT-1	鉛管 JIS H 4311(1977)	—	PbT1
	—	PbT-2		—	PbT2
	—	HPbT4	硬鉛管 JIS H 4313(1956)	—	HPbT4
	—	HPbT6		—	HPbT6

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格			平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格		
種 類	記 号	質 別	種 類	記 号	質 別
ニッケル及びニッケル合金板及び条 JIS H 4551(1991)	NCuP-0	O	ニッケル銅合金板 JIS H 4551(1977)	NCuP-0	O
ニッケル及びニッケル合金継目無管 JIS H 4552(1991)	NCuT-0	O	ニッケル銅合金継目無管 JIS H 4552(1977)	NCuT-0	O
	NCuT-SR	S R		NCuT-SR	S R

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格			平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格		
種 類	種 別	記 号	種 類	種 別	記 号
チタン板及び条 JIS H 4600(1993)	1 種	TP270	チタン板及び条 JIS H 4600(1979)	1 種	TP28
	2 種	TP340		2 種	TP35
	3 種	TP480		3 種	TP49
配管用チタン管 JIS H 4630(1994)	1 種	TTP270	配管用チタン管 JIS H 4630(1979)	1 種	TTP28
	2 種	TTP340		2 種	TTP35
	3 種	TTP480		3 種	TTP49
熱交換器用チタン管 JIS H 4631(1994)	1 種	TTH270	熱交換器用チタン管 JIS H 4631(1979)	1 種	TTH28
	2 種	TTH340		2 種	TTH35
	3 種	TTH480		3 種	TTH49
チタン棒	1 種	TB270	チタン棒	1 種	TB28

JIS H 4650(1993)	2種	TB340	JIS H 4650(1979)	2種	TB35
	3種	TB480		3種	TB49

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格			平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格		
種 類	種 別	記 号	種 類	種 別	記 号
黄銅鑄物 JIS H 5101(1988)	1種	YB _s C1	黄銅鑄物 JIS H 5101(1979)	1種	YB _s C1
	2種	YB _s C2		2種	YB _s C2
	3種	YB _s C3		3種	YB _s C3
高力黄銅鑄物 JIS H 5102(1988)	1種	HB _s C1	高力黄銅鑄物 JIS H 5102(1979)	1種	HB _s C1
	1種C	HB _s C1C		1種C	HB _s C1C
	2種	HB _s C2		2種	HB _s C2
	3種	HB _s C3		3種	HB _s C3
	4種	HB _s C4		4種	HB _s C4
青銅鑄物 JIS H 5111(1988)	2種	BC2	青銅鑄物 JIS H 5111(1979)	2種	BC2
	3種	BC3		3種	BC3
	6種	BC6		6種	BC6
	7種	BC7		7種	BC7
りん青銅鑄物 JIS H 5113(1988)	2種	PBC2	りん青銅鑄物 JIS H 5113(1979)	2種	PBC2
	2種B	PBC2B		2種B	PBC2B
	2種C	PBC2C		2種C	PBC2C
	3種C	PBC3C		3種C	PBC3C
アルミニウム青銅鑄物 JIS H 5114(1988)	1種	A1BC1	アルミニウム青銅鑄物 JIS H 5114(1979)	1種	A1BC1
	2種	A1BC2		2種	A1BC2
	2種C	A1BC2C		2種C	A1BC2C
	3種	A1BC3		3種	A1BC3
	4種	A1BC4		4種	A1BC4
アルミニウム合金鑄物 JIS H 5202(1992)	—	AC4C	アルミニウム合金鑄物 JIS H 5202(1977)	—	AC4C
	—	AC7A		—	AC7A

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格	平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格
-------------------------------	---------------------------------

種 類	種 別	記 号	種 類	種 別	記 号
アルミニウム合金ダイ カスト JIS H 5302(1990)	1種	ADC1	アルミニウム合金ダイ カスト JIS H 5302(1976)	1種	ADC1
	3種	ADC3		3種	ADC3
	5種	ADC5		5種	ADC5
	6種	ADC6		6種	ADC6
	10種	ADC10		10種	ADC10
	12種	ADC12		12種	ADC12

平成9年2月28日改正後の告示に規定された材料のJIS規格			平成9年2月28日改正前の告示に規定されていた材料のJIS規格		
種 類	種 別	記 号	種 類	種 別	記 号
ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774(1995) ガス用ポリエチレン管 継手 JIS K 6775(1995)	A	—	ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774(1982) ガス用ポリエチレン管 継手 JIS K 6775(1982)	A	—
	B	—		B	—
	C	—		C	—
硬質塩化ビニル管 JIS K 6741(1995)	VP	—	硬質塩化ビニル管 JIS K 6741(1975)	VP	—
	VU	—		VU	—
水道用硬質塩化ビニル 管 JIS K 6742(1993)	—	—	水道用硬質塩化ビニル 管 JIS K 6742	—	—

[illegible]

●明治方史及ノ止ハ、改正日方史第一の巻に入る。

表 3. J I S 規格対応表

平成 9 年 2 月 2 8 日改正後の告示に規定された材料の J I S 規格	平成 9 年 2 月 2. 8 日改正前の告示に規定されていた材料の J I S 規格
種 類	種 類
鉄筋コンクリート用棒鋼 JIS G 3112 (1987)	鉄筋コンクリート用棒鋼 JIS G 3112 (1964)
ワイヤーロープ JIS G 3525 (1988)	ワイヤーロープ JIS G 3525 (1964)
鉄線 JIS G 3532 (1993)	鉄線 JIS G 3532 (1962)

従前の通達に記載の計量単位をS I単位に改める件について

従前の通達に記載のある計量単位（非S I単位）については、下記のとおりS I単位に改正することとする。ただし、平成11年9月30日までは、なお従前の例によることもできるものとする。

記

1. 昭和45年5月19日付け45公局第263号「ガス爆発事故の防止に関する緊急措置について」
○「1 kg/cm²」を「0. 1 MPa」に改める。
2. 昭和45年12月18日付け45公局第707号「ガス事業法の運用について」
○「11, 000キロカロリー毎立方メートル」を「46. 04655メガジュール毎立方メートル」に改める。
3. 昭和47年5月8日付け47公局第328号「導管等埋設図の作成要領について」
○「3 kg/cm²」を「0. 3 MPa」に改める。
4. 昭和50年7月22日付け50資公部第396号「供給ガスの熱量変更について」
○別紙 1. 熱量変更の方式に関する事項 (4) 調整ガス方式 1) 採用基準 ①中「水柱100mm/m～150mm/m」を「1. 0 kPa～1. 5 kPa」に改める
○別紙 2. 器具の調整方法に関する事項 (2) 器具調整方法の決定に関する基準 1) 調整値の決定 ①インプットの調整 イ中「P: 標準圧力 (mmH₂O)」を「P: 標準圧力 (kPa)」に、「Q: ガス発熱量 (Kcal/Nm³)」を「Q: ガス発熱量 (MJ/m³N)」に改める。
5. 昭和56年6月29日付け56資公部第246号「ガス事業法施行規則の一部を改正する省令、ガス工作物の技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令及びガス事業法関係告示の運用について」
○別記3中「水柱1, 000mm」を「10 kPa」に改める。
6. 昭和57年11月10日付け57資公部第475号「ガス工作物の技術上の基準を定める省令及びガス工作物の技術上の基準の細目を定める告示の運用について」
○別記5. 中「水柱3ミリメートル」を「30 Pa」に、「水柱2ミリメートル」を「20 Pa」に、「水柱1ミリメートル」を「10 Pa」に改める。

7. 昭和60年11月15日付け60資公部第435号「ガス消費先における保安の確保に係るガス事業法施行規則等の運用について」

○別紙3様式第3 建物に引き込まれる導管の口径（呼び径）の欄中「（ kg/cm²）」を「（ MPa）」に、備考中「日本工業規格B4」を「日本工業規格A3」に改める

8. 平成5年3月9日付け5.資公部第115号「ガス事業法施行規則第19条第1項第3号ただし書きの規定による承認の基準の改正について」

○燃焼速度に関する承認申請書記載要領の9. 中「10の位」を「小数点以下2けた」に改める。

○表1を次のように改める。

ガスグループ		ウォッペ指数 (WI)		燃焼速度 (MCP)	
用品検定	供給ガス	最小値	最大値	最小値	最大値
13A	13A	52.7	57.8	35	47
12A	12A	49.2	53.8	34	47
6A	6A	24.5	28.2	34	45
5C	5C	21.4	24.7	42	68
L1		23.7	28.9	42.5	78
	7C	25.7	28.9	47	78
	6B	24.9	28.7	42.5	62
	6C	23.7	27.4	42.5	71
L2		19.0	22.6	29	54
	5A	19.6	22.6	32	52.5
	5B	19.4	22.4	36	54
	5AN	19.0	20.8	29	43
L3		16.2	18.6	35	64
	4A	16.2	18.0	35	51
	4B	16.2	18.2	37	62
	4C	16.5	18.6	40	64

○ガス発生設備の運転方法、供給ガスの燃焼性範囲（記載例1）中「4, 500kcal/Nm³」を「19MJ/m³N」に、「4, 550～4, 970」を「19.0～20.8」に改める。

○ガス発生設備の運転方法、供給ガスの燃焼性範囲（記載例2）中「5, 000kcal/Nm³」を「21MJ/m³N」に、「5, 670～6, 530」を

「23. 7~27. 4」に改める。

9. 平成7年2月28日付け7公ガス第2号「ガス事業法関係省令の運用について」

○「11,000kcal」を「46MJ」に、様式3中「11,000kcal/m³」を「46MJ/m³」に改める。

10. 平成7年2月28日付け7資公部第71号「消費機器に関する周知及び調査の制度の運用について」

○別紙の別添中「16000kcal/h(18.6kW)」を「18.6kW」に、「18000kcal/h(20.9kW)」を「20.9kW」に、「25000kcal/h(29.0kW)」を「29.0kW」に、「30000kcal/h(34.8kW)」を「34.8kW」に、「1000kcal/h(1.1kW)当たり」を「1kW当たり」に、「10cm²」を「9cm²」に、「20cm²」を「18cm²」に、「40cm²」を「36cm²」に改める。